

香川生物 (KAGAWA SEIBUTSU) (7)9-12, 1978

## 香川県帰化植物目録 (2)

香川県大寺前高等学校 和気俊郎

## 4 Fam. Valerianaceae オミナエシ科

*Valerianella olitoria* (L.) Poll. ノヂシャ  
既に1937年には大内町での記録がある。それ以後善通寺市中材町、吉原町、丸亀市土器町でも発見され、現在では県内各地に知られているが、多いという程ではない。

## 5 Fam. Rubiaceae アカネ科

*Diodia teres* Walt. オオフタバムクラ  
1958.8.塩江町竜王山(坂口)、1959.8.23塩江町相栗峠(和気)で発見され、以後県下各地で点々と確認されている。特に多いのは豊浜町から観音寺市有明浜にいたる海岸線と、土器川丸亀橋(丸亀市)から中万橋(東岸は鞍歌町)の間の川原である。

## 6 Fam. Plantaginaceae オオバコ科

*Plantago virginica* L. ツホミオオバコ  
1974.5.8.丸亀市本島町泊(馬場)、1974.5.26.詫間町詫間(三谷)、1975.5.23.高松市西宝町(和気)、1976.5.23.丸亀市飯野山(三谷)、1977.6.17.丸亀市塩屋町(和気)の記録があるだけである。

*Plantago lanceolata* L. ヘラオオバコ  
終戦前より侵入しているが、特に目立つようになったのは終戦後で、現在は各地に点在している。中でも土庄町銚子溪付近、志度町大串、国分寺町国分、善通寺市吉原町、詫間町荘内半島に多い。消長が著しく、群落遷移が多草段階に入ると生育が困難となるようである。

*Plantago indica* L. ホソバオオバコ  
1965.9.8.仁尾町南草木(真木)で発見されているのみであるが、同地においても1974年には既に絶滅している。

## 7 Fam. Scrophulariaceae ゴマノハスサ科

*Linaria canadensis* (L.) Dum.

## マツバウンラン

1932~1933 頃牟礼町原(小山奥)、1939 頃善通寺市与北町鉢伏山(和気)の古い発見記録があるが、ともに標本が残されていない。県下で目立ちはじめたのは終戦後数年たってからで、今では広く分布し、大きな群落を作っていることも珍しくない。

*Linaria bipartita* Willd. ヒメキンギョソウ  
各地でその逸出を見るが、定着性が強いとは思えない。

*Veronica arvensis* L. タチイヌノフクリ  
県下に広く分布する。

*Veronica persica* Poir. オオイヌノフクリ  
県下に広く分布する。

*Veronica hederaefolia* L. フラサバソウ  
1965.4.29.善通寺市与北町、1969.5.31.土庄町土庄、1974.4.27.多度津町新町、1975.2.2.山本町大野(以上和気)、1969.3.観音寺市茂木町、1969.3.24.観音寺市栗井町(以上真木)で発見、以後、観音寺市吉岡町(和気・新居)、仁尾町仁尾峠(藤原)、善通寺市榎梨町・原田町・金蔵寺町、丸亀市原田町(以上和気)と記録地がどんどんひろがっている。現在ではまだ一般的とはいえないが、やがて普通の存在になるであろう。

*Verbascum thapsus* L. ヒロウドモウスイカ  
土庄町北浦、多度津町多度津、観音寺市染川橋付近で発見(以上和気)した。定着性は弱い。本県における栽植は極めて稀で、上記のヶ所のものが逸出品と即断することは難しい。

*Antirrhinum ornatum* L.

アレチキンギョソウ

1974.7.14.坂出市入船町(三谷)で発見。

## 8 Fam. Solanaceae ナス科

*Datura stramonium* L.

シロバナヨウシュキョウセンアサガオ

ヨウシュチョウセンアサガオと混生するが、多いほどではない。

*Datura stramonium* L. var. *chalybea* Koch  
ヨウシュチョウセンアサガオ  
県下各地に帰化しているが、特に海岸地方に多い。

*Datura meteloides* Dunal  
アメリカチョウセンアサガオ  
最近各地で逸出しているが、殆んどは一瞬出現に終っており、稀にやや定着しているにすぎない。

*Physalis angulata* L. センナリホオズキ  
時に野生を見るが、少ない。和気は、1966.8.10.善通寺市原田町、1967.8.20.善通寺市木徳町で見ているにすぎない。

*Salpichroa rhomboidea* Miers  
ハコベホオズキ  
1958頃高松市番町(坂口)で発見された。

*Solanum nigrum* L. イヌホオズキ  
県下に広く分布する。特に海岸地方に多い。

*Solanum sarachoides* Sendt.  
ケイヌホオズキ  
1965前後に坂出市の旧埋立地出現している(坂口・三谷)が、その後については未調査のままになっている。

*Solanum carolinense* L. ワルナスビ  
県下各地で点々と発見されてはいるが、未だ一般的とはいえない。因みに、本県での記録を示すと、次のようである。1959.9.10.高瀬町上高瀬新名、1959.9.高瀬町下麻、1959.9.丸亀市垂水町、1967.8.16.津田町津田、1968.7.4.坂出市昭和町・中央町(以上和気)、1965.6.13.豊中町本山(真木)、1974頃牟礼町原(小山実一)、1975.6.22.観音寺市杵田町、1975.8.14.土庄町荊崎(以上藤原)

*Solanum sisymbriifolium* Lam. ハリナスビ  
1973.6.2.坂出市築港町(坂口)で発見、その後坂出市番ノ州(坂口)でも見つかった。

*Solanum glaucophyllum* Desf.  
リュウキュウヤナギ  
時に逸出するが、定着しているのをあまり見ない。しかし豊中町桑山・笠田では、少

くとも1949以前より野化定着し、やや大きい群落を形成している。(和気)

*Solanum pseudo-capsicum* L. タマサンゴ  
県下各地で逸出しているのをよく見る。

*Petunia hybrida* Vilm. ツクバネアサガオ  
各地で一時的に逸出しているのを見るが、土庄町小部(1976.7.30.)、多度津町高見島(1977.2.13.)ではやや定着しているようである。(和気)しかし、いずれは消え去るであろう。

9Fam. Labiatae シソ科

*Perilla frutescens* (L.) Britton var. *crispa* (Thunb.) Benth. シソ  
よく逸出するが、定着しない。

*Perilla frutescens* (L.) Britton var. *crispa* (Thunb.) Benth. form. *viridis* Makino  
アオシソ  
時に逸出するが、定着しない。

*Stachys arvensis* L. ヤブチヨロキ  
1970頃高松市紫雲山(坂口・三谷)、1975.2.12.善通寺市平谷(和気)で発見されている。

*Mentha spicata* L. var. *crispa* Benth.  
オランダハッカ  
1958頃高松市内(坂口・他)、1958頃多度津町奥白方(馬場)、1960頃丸亀市田材町、1972.丸亀市西本町、1974.善通寺市原田町、1976.12.24.丸亀市塩屋町(以上和気)で発見されているが、まだ県下では多くない。

*Mentha arvensis* L. subsp. *haplocalyx* Briq. var. *piperascens* Malinverd  
ハッカ  
県下各地で野生化しているが、何れも人家に近く、恐らくはすべて栽培品の逸出とみていい。尚、本種を帰化植物とするかどうかに問題はあるが、あえてこの目録に加えることにする。

*Lamium purpureum* L. ヒメオドリコソウ  
1976.4.30.高松市宮脇町(坂口)で発見されているのみである。

10Fam. Verbenaceae クマツスラ科

*Verbena bonariensis* L. ヤナギハナガサ  
終戦後しばらくしてから逸出がほつほつ見られるようになったが、現在では既に珍しい存在ではなくなり、時には割合な群落を作っているところもある(善通寺市金蔵寺町)が、むしろ初期の植生に見られるもので、遷移の進行とともに姿を消していく。  
*Verbena brasiliensis* Vell. アレキハナガサ  
1976.7.8. 三野町下高瀬(和気)で発見されているのみである。

11 Fam. Boraginaceae ムラサキ科

*Lithospermum arvense* L. イヌムラサキ  
1967.4.3. 坂出市中央町・昭和町・入船町で発見、その後坂出市では更に広がりつある。(和気)

*Lappula squarrosa* (Retz.) Dumort.  
ムラサキ  
1971.6.12. 坂出市番、州町(坂口)、1973.6.24. 坂出市入船町(和気)で発見、その後も僅かなら毎見つまっている。

*Symphytum officinale* L. ヒレハリソウ  
県下では、既に各地で逸出品が定着している。

*Amsinckia barbata* Greene  
アラケムラサキ  
坂出市昭和町では既に1950に出現している(和気)が、最近の記録としては、1968.5.3. 坂出市入船町(和気)、1968.6.8. 観音寺市栗井町(真木)、1974.5.14. 坂出市築港町(三谷)がある。

12 Fam. Convolvulaceae ヒルガオ科

*Ipomoea hederacea* (L.) Jacq.  
アメリカアサガオ  
1965.8.19. 善通寺市原田町、1966.8.8. 丸亀市川西町、1967.8.10. 善通寺市木徳町(以上和気)と発見、現在では県下各地で見られるようになったが、まだ一般的とはいえない。

*Ipomoea hederacea* (L.) Jacq. var.  
*integrinucula* A. Gray  
マルバアメリカアサガオ

1966.11.29. 豊浜町関谷、1967.9.24. 観音寺市三本松、1967.9.30. 宇夫苗(宇多津町)で発見(以上和気)しているが、その後更に各地で見つかり、現在ではむしろアメリカアサガオより普通になっている。

*Ipomoea nil* Roth アサガオ  
県下での野化品は珍しくなく、既に定着しているところも多い。日本への最初の渡来は古いが、現在の野化品は多分江戸時代に入ってから渡来品に起因するとの見解から、この目録に加えることにした。

*Ipomoea purpurea* (L.) Roth  
マルバアサガオ  
1950頃既に豊中町本山、坂出市沙弥島で広く野化(和気)、現在でも坂出市入船町、丸亀市飯野町をはじめ、点々と見られる(和気)が、渡来の古いにもかわらず、アメリカアサガオ等よりも多い。

*Ipomoea lacunosa* L. マメアサガオ  
1963.9.24. 多度津町鶴橋(和気)での発見が県下で最初の記録で、現在では広く各地で見られるようになり、殆んど普通の存在になっている。

*Ipomoea lacunosa* L. form. *purpurata* Fern.  
ベニバナマメアサガオ  
1968.9.12. 観音寺市茂木町(真木)で発見されて後、丸亀市三条町、三野町大見(以上和気)、高松市林道(赤木採子)でも見られているが、マメアサガオよりははるかに多い。

*Ipomoea triloba* L. ホシアサガオ  
1967.8. 善通寺市木徳町で発見され、その後善通寺市与北町、善通寺駅構内、善通寺市金蔵寺町・大麻町・上吉田町、琴平町横瀬・苗田、丸亀市金倉町とほぼ金倉川をはさんだ地域に広がっている(和気)。また、1972.9.5. 観音寺市昭和町(真木)でも見つけた。

*Ipomoea trichocarpa* Ell. (?)  
イモネホシアサガオ  
1975.10.4. 観音寺市八幡町(真木)、1975.10.10. 宇多津町海岸町(和気)で発見されてい

るのみである。サツマイモの原種といわれる。

*Sipomoea muricata* (L.) Jacq.

ハリアサガオ

逸出品としては、1975.8.8 観音寺市常磐町(真木)の記録があるが、完全帰化品としては1976.9.6.善通寺市木徳町(和気)の記録のみである。

*Jacquemontia tamnifolia* (L.) Griseb.

オキナアサガオ

1972.10.牟礼町原(小山実一)で発見されている。養鶏の飼料に種子が混じていたものらしい。

*Convolvulus arvensis* L. セイヨウヒルガオ

1964.8.多度津町西白才、1967.8.宇多津町海岸町、1967.6.13.丸亀市浜町、1967.10.10.坂出市築港町・宮下町、1976.10.9.詫間町松崎(以上和気)で発見されているが、県下ではまだ多いという程ではない。

*Convolvulus arvensis* L. form.

ケセイヨウヒルガオ

1974.7.14.坂出市入船町で発見(三谷)されている。

*Zuamoclit angulata* Bojer マルバルコウ

県下に点々と野化しており、時には坂出市大屋富町におけるように定着しているところもある。

*Zuamoclit cardinalis* Hort. ハゴロモルコウ

時に逸出するが、定着性は弱い。

13 Fam. Apocynaceae キョウチクトウ科

*Vinca major* L. ツルニチニチソウ

各地で野化、定着を見かけるが、それほど多くはない。しかし、場所によっては(高松市鶴市町、善通寺市与北町等)かなり広まっているところもある。

*Vinca major* L. var. *argenteimarginata*

Hort. フクリンツルニチニチソウ

時に逸出を見るが、ツルニチニチソウほどではない。

*Vinca minor* L. ヒメツルニチニチソウ

高松市紫雲山で野化している。(坂口)

14 Fam. Primulaceae サクラソウ科

*Anagallis arvensis* L. form. *coerulea*

(Schreber) Baumg. ルリハコベ

坂出市高屋町、高松市女木島で知られている。本県への渡来は割合古いようである。

*Anagallis arvensis* L. form. *arvensis*

アカバナルリハコベ

本県では1962.7.豊中町桑山のミカン畠で発見(矢野直樹)されたのが最初の記録であるが、現在同所では絶滅した。その後1971.5.15.丸亀市昭和町(織田金四郎)、1975.5.31.牟礼町原(今雪哲郎)で発見されている。尚、丸亀市昭和町のもは、少くともその前写にもあったことと判明している。

15 Fam. Umbelliferae セリ科

*Daucus carota* L. ノラニンジン

海岸地方に多い。

*Apium graveolens* L. オランタミツバ

1960頃詫間町松崎塩田の横に定着していたが、埋立てられたため絶滅した。その後、観音寺市木大町で逸出しているのを見たが、これは一時的なものである。(和気)

*Apium leptophyllum* (Pers.) F. Muell

マツバゼリ

1966.6.11.観音寺市観音寺町、1966.8.4.観音寺市杵田町・木之郷町(以上真木)、1976.6.30.高松市神在川窪町(新居)、1976.8.29.坂出市入船町(三谷)で記録されているが、県下では少い。

*Petroselinum sativum* Hoffm. オランタセリ

時に逸出するが、定着性は弱い。

*Coriandrum sativum* L. コエンドロ

1950頃、財田町財田中で一時逸出したことなある。(和気)

*Ammi majus* L. ドクセリモドキ

1970頃坂出市築港町で発見。(坂口)

*Foeniculum vulgare* Mill. ウイキョウ

各地で逸出品を見るが、一般に定着する場合は少い。ただ宇多津駅構内においては、古くから定着している。(和気)